

2024年1月
No. 463号

波紋

創刊 1985年(昭和60年)

カンボウプラス 福井工場
アキレス 滋賀第一工場森松マン
工場見学へ行く!

11月29日(水)に、カンボウプラス様の福井工場と、アキレス様の滋賀第一工場を見学させていただきました。今回、生地（生地）の製造に関する工場を初めて見学させていただき、作り方を知らずと知ってからでは、生地（生地）対しての考えが大きく変わりました。生地（生地）の生産についてだけではなく、作業効率や安全に対する工夫、昨今の塩ビ（塩ビ）についての考え方なども聞かせていただき、とても勉強になった1日でした。貴重な体験をさせて頂き、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。(阪本)

2024年を迎えて

森 直樹（代表取締役社長）

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

新年を迎えるにあたり、私自身の今年の取り組むべき課題について挙げていきます。【1. 評価制度の策定】(去年より繰越し) ちょうど一年前にこの課題を挙げましたが、賞与前の面談を社員さんで行うに留まりました。他社の事例も参考にしつつ、制度を作っていきます。【2. 人材育成】2021年～23年で8名の入社がありました。コロナ禍の影響もあり、十分な研修が出来ていないままです。ここで改めて、森松で働く上で知ってもらいたい事、そしてまた各自の部署での技能向上を図る研修を進めていきます。【3. 実務の引き渡し】今、自分が関わっている実務、作業を手放し、通常業務は自分が不在でも止まらずに進む体制にします。昨年より進行中ですが、それをさらに進めていきます。以上、2024年の取り組む課題ですが、一年は本当に早く過ぎていきます。課題を設定することがまずスタートですが、課題に向かって立ち止まらず、進み続けることで、その達成に近づきます。また一年後、これらの課題を翌年に持ち越すことの無いよう、年内のゴールを目指します。



継続は柔なり

光田 昭男 (営業部)



7月号の波紋で紹介しましたドクターストレッチですが、なんとか継続しています。2月から初めて11ヵ月になります。月に2回ですので、費用を計算すると約14万円をしましたが、お陰様で、テニス肘は完治したようで、雑巾も絞れるようになり、肘の痛みも無くなり仕事も散歩も楽しくプレイさせていただいています。今は、両肩のストレッチと股関節のストレッチに重点を置いて、トレーナーさんに頑張ってもらっています。現状でもストレッチをしていただくと、とても痛い箇所と気持ちの良い箇所があります。身体も以前よりは改善されており、施術中は、眠気を感じる位の気持ち良さになっています。トレーナーさんとは、今でも会話はありませんが、良くなっていますと言われると安心感も生まれてきます。最近流行りのチョコザップも興味があり、調べてみました。売りは、運動も美容もゼーンぶ使い放題。24時間365日 / 月間2980円。テレビのCMでは解らないですが、調べると初期費用が必要でした。入会金3000円・事務手数料2000円の計5000円。全国1000店舗以上。会員80万人 (80万×5000円=すごい。) 堀田に店舗がありますが、ビルの一階で小さな場所です。ジムでもピンキリです。パーソナルジムのトレーナーですが、知り合いの息子さんが某有名ジムのトレーナーをされているのですが、1時間50000円だそうですよ。ボディビルで有名な方で、聞けば、バーベルなどは、手の下す位置が違えば、良い筋肉にならず、何の意味もないらしいです。食生活も、とてもマネが出来ないくらいストイックらしいです。食生活を見ていると良くやるよなど…おやじさんが言っていました。大会の前日には、〇トウの切り餅を20個位食べて身体を整えるらしいですよ。



「通信高等学校」のイメージが大きく変わった「N高等学校」 伊東 郁二 (特販部)



「教育革命・生きるためのスキルUP…」を目玉に、2016年、「KADOKAWA (出版社)」と「ドワンゴ (IT企業)」が共同で設立した通信制高校が『N高等学校』。学校長は、教育界に30年以上身を置いていた人で、ドワンゴ社を動かし、異業種のタッグマッチで出来た学校だと感じた。初年度1,800名、4年後には15,400名までに認知され、関連校と併せると約26,000人の日本一の高校だそうだ。「通信制高校」というより、未来を常に考える「ネット高校」だと言われている。生徒が学びたいことを主体的に学べ、自分で学びたいことを決める学校。「eスポーツ・プログラミング」に熱中している生徒、不登校を経験した生徒などが、入校していることから、従来の通信制高校より多様化していることもわかる。有名国公立大学、難関私立大学、難関の海外大学などにも多くの合格者を出している。学力だけを伸ばしたい生徒、投資家を目指す生徒、プログラミングですでに自立している生徒などなど、将来の夢を実現化させる通常の高校では出来ない高校を目指しているようだ。「芸能人格付けチェック」には欠かせない「GACKT」がCMをやっているが、ゲームの専門学校程度にしか思っていなかった。考えたこともない制度で「自立心」が身につく、世界に羽ばたいていく「若者の背中を押してあげる学校」、「即戦力と成り得る人材を育てている学校」と思った。自分自身で「好きなことをやり、好きなことを見つけ、好きをさらにスキルUP」させるイメージに、久しぶりに興味を持ちました。生徒たちも素晴らしいが、教員たちも最高の人材が集まっているんだなあと想像がつく。更には、N高の通信制大学である『ZEN大学』も開校準備に入っているようだ。企業も教育界も、当たり前のやり方ではなく「チェンジ」することを痛感させられた。

上高地

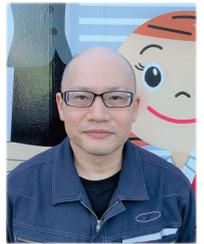
河嶋 桂子（東京オフィス）



先日初めて上高地に行ってまいりました。京都などの観光地とはひと味違う、自然そのものに触れられるところでした。上高地は年間120万人もの観光客が訪れる山岳景勝地です。その由来は、手つかずの自然が多く残り、大自然の宝庫と呼ばれることにありますが、リゾート観光地としての歴史は浅く、一般的な観光客が訪れるようになったのは昭和時代に入ってからとの事でした。歴史を振り返ると、英国宣教師ウォルター・ウェストンの名前がよく出てきます。彼が著書で世界に紹介し、絶賛したことにより、それまで信仰や修行、生活のための山行きであった日本の登山が、広くレジャーとして知られるようになっていったそうです。有名な大正池は、大正4年6月の焼岳の大爆発で誕生して命名され、1927年には上高地が芥川龍之介の小説「河童」の舞台となり、新聞社が主催した「日本八景」渓谷の部で第一に推され、同年に昭和天皇の実弟秩父宮殿下が上高地から奥穂高岳に登ったこと、国立公園選定の準備調査で日本で初めてケショウヤナギが発見されたことなどが話題となり、国の名勝および天然記念物に指定され、発展していきました。その頃、初の山岳リゾートホテルである上高地帝国ホテルも開業しました。また上高地の歴史は、自然と人間の共存・調和を求めてきた歴史でもあります。観光ブームが訪れた時期には、その影響によって自然環境が損なわれることが懸念され、それに対する取り組みが行われました。県道上高地公園線のマイカー規制は、その代表的な取り組みの一つです。登山ルートの整備や山小屋の運営、トイレトペーパーの整備なども行われ、上高地を訪れる人々が快適に過ごせる環境が整備されています。地元住民で「上高地を美しくする会」を発足させ、大正時代からカラマツの植栽をしたり、代替のない大自然を子どもたちへ継承していくことが行われています。環境への配慮がより一層大切になってきた、この地球で人々の努力で残されているこの自然と出会い、私たち一人ひとりももっと出来ることがあるのではと考えさせられました。素敵な時間を過ごすことが出来た上高地の一日でした。

娘の運動会

長田 剛（製造部）



私には、現在小学4年生と、年中の、2人の娘がいます。10月に、2人の娘の運動会がありました。しかも、同じ日でした。上の子の方が、出番が早かったので、先に上の子を見に行きました。種目は「短距離走」と、「台風の目」です。短距離走は、男女混合で走り、保育園のときから、毎年ずっと1位です!!でも、去年は、ゴールの手前で、男の子と競り合い、なんとかギリギリの1位でした。今年も、その男の子と同じグループで走るということで、「今年は1位は無理かな〜?」と思っていましたが、それでも、余裕のぶっちぎりの1位でした。でも、あとから娘に聞いたところ、その男の子は足を少し負傷していたみたいで、本気で走れなかったみたいです。なので、もしかしたら、来年もまた、リベンジで、その男の子と一緒に走る可能性があるのでは、油断は禁物です!!上の子は、運動神経がとてもいいので、来年も期待しています!!そして、上の子のあとは、下の子を見に行きました。昨年までは、コロナの関係で、園児のみで行っていたので、初めての観覧でした。種目は、「障害物競走」と、「パラバルーン」と、「鍵盤ハーモニカ演奏」でした。下の子は3月生まれて、同級生の中では、1番遅い誕生日ですが、早生まれとは思えない元気いっぱい運動会でした。また、自分よりも背の高い鉄棒で、「逆上がり」も出来ます!!【自慢の娘】です。2人とも、これからも元気いっぱい育ててくれたらうれしいです。



40th Family year-end party



約4年振りに40回目となる
家族忘年会が開催されました！
今年一年、支えてくれた皆様
ありがとうございました！

感謝♡

Photo snap

朝の習慣

清水 由依 (特販部)



寒くなってきた11月から朝起きたらコップ1杯の白湯を飲み始めました。普段全く運動をしていない、好きなものを好きなだけ食べて飲んでいる生活をしているので体形などが気になりなにか手軽に始められる体に良さそうなことはなにかと調べたことがきっかけです。白湯の作り方はいろいろありますが、私は水道水をケトルで沸騰させコップに入れ少し冷めるのを待って飲んでいます。ベストな温度は50度くらいで、飲んだ時に食道や胃が温かいと感じるくらいが適温らしいです。＜最強の毒出しドリンク＞とも言われている白湯ですが、飲み続けることで期待できる効果は①消化力アップ…湯の温かさが胃腸の働きを高める ②便秘解消…胃腸が活性化することで老廃物の排出がスムーズになる ③冷え性が改善する・基礎代謝が上がる…基礎代謝は内臓の温度が1℃上がることで約10～20%上がると言われており血液のめぐりが良くなり冷え性や脂肪燃焼によるダイエット効果がある ④デトックス効果…リンパの流れや血流が良くなり、むくみの改善になる ⑤美肌効果…腸内の毒素を浄化・排出を促すので腸内環境が改善され美肌効果が期待できるみたいです。体だけではなく肌にも効果があるのは嬉しいです。1日に飲む量800mlから1000mlと言われているのですが、とりあえず朝の1杯を続けていこうと思います。飲んでいる量も少ないのでまだ効果を感じていないのですが、白湯を飲み始めて感じたことは白湯を飲んでいる時すごくリラックスできていることです。朝まだ誰も起きていないシーンとしたリビングでテレビもつけず、携帯も見ず一人でゆっくり飲みながら今日夕食何作ろうかなとか次の休みどこ行こうかな～とかたまに仕事のことが浮かんできたり、頭は動いているけど落ち着いている感じ。この10分くらいの時間が好きになりました。レモンやはちみつ、しょうがを入れるとさらにメリットもあるみたいなので白湯の味に飽きたら試してみたいと思います。